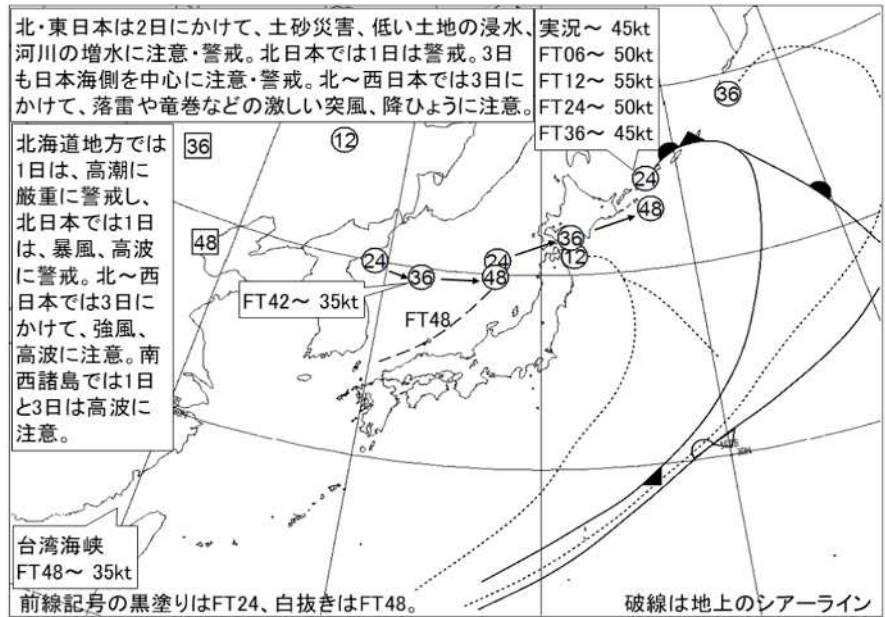


短期予報解説資料 2025年11月1日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5580～5760mのトラフの深まりに対応して急速に発達中の低気圧が東～北日本太平洋側を北東進中。下層暖湿気が陸側の冷氣に乗り上げる沿岸部で雷と猛烈な雨。竜巻注意情報も発表。
- ② 500hPa5580m付近の次のトラフが東側に上昇流域対応の雲バンドを伴い、深まりながら黄海を東進。-21℃以下の強い寒気を伴っており、850hPa $\theta \geq 309K$ 以上の暖湿気が滞留している朝鮮半島周辺で所々発雷検知。



主要じょう乱解説図

- ③ ①の低気圧の東側では東または南、西側では西または北の風が広い範囲で強まってきており、海上は非常に強い風が吹き、しけの範囲が広がってきている。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は1日夜にかけて、急速に発達しながら北日本太平洋側を通り千島近海へ進み、前線は閉塞しながら日本の東へ進む。1日は日本海中部に小低気圧が発生し、2日にかけて北日本を通過する。また、1項②の上層寒気が西～北日本の日本海側中心にかかる。発達する低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、雷を伴い非常に激しい雨の降る所がある。北～東日本では2日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本では1日は警戒。また、北～西日本では小低気圧や上層寒気の影響で大気の状態が非常に不安定。2日にかけて落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、低気圧の発達に伴う広い範囲で風が強まり、非常に強い風が吹く所があり、波が高くなり、大しけとなる所がある。1日は、北海道地方で高潮に厳重に警戒し、北日本では暴風、高波に警戒。北～西日本では2日にかけて、強風、高波に注意。南西諸島では1日は、高波に注意。
- ② 3日には、500hPa 5460～5640mで-30～-21℃の平年より概ね5～10℃低い寒気を伴うトラフが深まりながら本州付近を通過する。2日には日本海中部を東北東進する低気圧付近からのびるシアーラインの付近で、2日から3日にかけて大気の状態が非常に不安定となり、その後ろ側では冬型の気圧配置となり風が強まる。北～西日本の日本海側や山地を中心に天気が急変し、落雷、竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。北陸地方では、雷を伴う激しい雨が断続し、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。また、北～西日本の広い範囲で荒れた天気となり、強風、高波に注意。北陸地方は注意・警戒。南西諸島では高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ## 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(06時からの24時間)：北海道120・東北100mm。
 - ② 波浪(明日まで)：北海道・東北7、関東5、伊豆諸島・東海・北陸4、その他東日本～南西諸島で3m。
 - ③ 高潮(明日まで)：北海道では警報基準を、東・西日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「暴風と高波及び大雨に関する全般気象情報」を05時頃発表予定。